

A-24 *Corn Seed* から *Hemicellulase* 活性を有する細菌の集積培養について  
長崎大教育長崎女子短大\* 大宮満男・今里祥子・小川サチヨ\* 栗塚知子

目的 前回、集菌時においては、初発 pH 8 で目的菌の菌数が割合多く、10 回行った実験例で、ほぼ安定していたので、集菌液の pH を 8 に保持しながら集菌を行い、同培養液についても検討した。

方法 菌数は平面培養法により、生菌数を測定した。また集積培養液については、呈色反応で *Hemicellulose* の分解状況を判断した。

結果 集菌については、緩衝液で pH を 8 に保持した場合が、初発 pH 8 を自然に放置した場合よりも、2 日目位から 8 日目位まで菌数はほぼ一定であった。また集菌液の化学反応は、*Phloroglucinol test* が顕著に陽性であった。この様なことから *Corn Seed* 細胞膜 *Hemicellulose* が加水分解され、その主要構成糖である *Xylose*, *Arabinose* などの存在が推定された。